現在、２９カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡定時制高校の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制高校の同窓会が中心となり1996年5月にスタートしました。NPO市岡国際教育協会が運営し、市岡高校同窓会に後援して頂いております。

Ichioka 会報

2007/1 第３４号

発行人／市岡国際教育協会理事長　吉田徳夫　／編集／広報係
大阪市港区市岡元町２－１２－１２　TEL/FAX:06-6582-0348

特定非営利活動法人
市岡国際教育協会 日本語教室
- 場所 大阪府立市岡高校内
- 日時 金曜日午後7時から約2時間
- ボランティア参加費
  入会金　1,000円
  年会費　3,000円
- 学習者は無料

港南中学校へ出前授業！

十二月四日に港区にある港南中学校での総合学習に参加しました。国際交流、異文化理解をテーマとした総合学習ですが、昨年に引き続き、市岡日本語教室が協力、コーディネイトしました。

当日は1年生5クラスに、それぞれ5カ国からの学習者が入り込み、自国の紹介を行った後、生徒たちが用意していた質問に答えました。その後は、それぞれが歌を歌ったり、ゲームを紹介したりと、さまざまな交流を行いました。

生徒たちは、事前に、それぞれの国について調べ学習をし、その成果を模造紙等にまとめて展示していました。また、日本語教室の見学にも来てくれました。

参加した学習者さんとボランティアは韓国の李定恩さん、趙蓮花さん、スリランカのサンディアさん、スペインのアントニオさん、オーストラリアのロバートさん、中国の王建珍さん、そして、広報の札葉でした。

この活動は、生徒たちにも大いに役立ったと思いますが、参加した学習者さんたちにとっても、すごくいい経験、勉強になったと思います。平日の午後という参加しにくい日程ではありますが、来年はぜひあなたも参加してください。

参加者の中から、王建珍さんに日本語で感想を書いていただきました。

港南中学校の総合学習　王建珍

私は十二月四日に、港南中学校の１年生と国際交流、異文化理解の総合学習に参加しました。初めてですが、まだ日本語を上手に話すことができませんので、緊張しました。生徒たちからの質問に答えましたが、私の言ってることが理解できているか心配でした。

十二月八日、私が担当した一年三組の生徒たちから手紙をもらいました。中国のことについてそれぞれの感想を書いてくれて、とても感動しました。

このような国際交流は子供たちについて意義があると思います。子供たちに世界のいろんな国の情報を知ってもらって、自分が先進国に生まれて、良い環境で勉強できる幸せを感じてもらって、もっと勉強に励むように願ってます。

今後もこのようなイベントに協力させてもらいたいと思います。私は中国の悠久の歴史や、文化や、地方によっていろいろな美味しい料理などを紹介してあげたいです。

現在、中国は経済発展中の国ですが、中国の子供たちが一生懸命に勉強している姿を日本の子供たちに話したいです。このため、私は日本語の勉強を頑張らなければならないと思いました。

ボランティア・リレー・エッセイ　第二十回

「ボランティア活動を経て」

4班　黒田　香苗

私は、日本語を教えに来たはずが、日本語を勉強し直しに来ている事に驚きを隠せません。

学習者の皆さんと、週に1度の時間を共にし、私は日本人でありながら、日本語を含む日本の文化に対する知識の乏しさを認識させられました。この事は、私にとって思いもしない衝撃でした。身近なはずの大阪の歴史・人物・文化・芸能など詳しく説明することが出来ず、そして何よりも勉強してきたはずの「漢字」さえも忘れてしまっていることです。恥ずかしい限りです。これでは、正確に日本語や文化を教えることは到底出来ないと気付かされました。

また、学習者の皆さんからは、他にも様々な日本語についての事を気付かせて貰えました。日本語の発音、意味の違う読み方が同じ言葉、話し言葉と書き言葉、言葉の由来、日本の方言、言葉の持つ印象、場面ごとの言葉の使い方、現代用語など、言葉の持つ偉大さに圧倒されました。何気なく使って過ごしていた日々の日本語生活に、態度を改める気持ちが芽生えてきました。

これからのボランティア活動や日常の暮らしも、「日本の文化」を大切に守っていき、正しい日本語を身に付けた心豊かな日本人に成れるよう努めて行きたいと思います。

◎秋のハイキング◎　～京都・嵐山コース～

恒例の秋のハイキング・京都嵐山方面はあいにくの空模様でしたが、50数名の参加がありました。

11月26日（日曜日）京都行き電車は紅葉シーズンのため乗客で満員でした。車中、これから訪れる嵐山や、学習者の日常生活などに話がはずんでいるうちに嵐山駅に到着しました。

駅前の広場でこれからの説明があり、そのあと嵐山公園の桂川のほとりの景色の良い場所で昼食をとりました。昼食は、コンビニで買ったものや手作りのものなど、色とりどりのおいしそうなお弁当が持ち寄られ、お互いのお弁当を分け合い、味くらべをしながらいただきました。食事の間、学習者とお国自慢の料理、留学中の食事、日本の印象などについていろいろと話をしました。

昼食のあと、皆で渡月橋を背景に記念写真を撮り、午後のコースへ向けて出発しました。
学習者の一人から「渡月橋」の名前の由来をたずねられたので、「川上から渡月橋を見ると、月が橋を渡るかのように見えるので、この名前がつけられたのですよ」と説明してあげました。橋の上から見る山の紅葉も色とりどりで、嵐山の美しさが一段と際立っていました。

渡月橋を渡り、お土産物店や料理旅館が並ぶ嵐山のメインストリートを進むと、天龍寺に着きました。この頃よりパラパラと雨が降りはじめました。「天龍寺」は京都五山の第一位で、臨済宗天龍寺派の大本山であり、世界文化遺産にも登録されている有名な寺院です。その庭園は見事な美しさで、小倉山と嵐山を借景とした秋の彩りはまるで絵はがきのようでした。

天龍寺をあとにして、嵯峨野の幻想的な竹林の小径を通り、さらにずっと歩いて次の予定地「常寂光寺」へと進みました。この寺の境内は小倉山の中腹にあるので急な石段を登って行くと、石段の周りの紅葉は上も下もとても綺麗で、まるで紅葉のトンネルを歩いているみたいでした。石段を登りつめると、眼下に嵯峨野の町が見渡せ素晴らしい眺めで、息を切らせて登った甲斐がありました。

それから山をおりて、教室の皆さんに別れを告げ、私は数人の学習者と日本語能力試験の合格祈願のため、学問の神様で有名な「北野天満宮」へ参拝に行きました。神社ではまず、参拝の順序・お賽銭の入れ方・お辞儀や拍手の仕方など、お参りの作法を教え、本殿にて合格祈願を行いました。そのあと、お守りを買って帰路につきました。

学習者は今回のハイキングを大変喜んでおり、個人的にもう一度嵐山を訪れたいと感想を述べていました。今回のハイキングを通し学習者・ボランティア共々いろいろな体験ができ、良い異文化交流になったと思います。この経験を今後の学習支援活動に役立てて行きたいと思っております。

最後に、今回のハイキングの幹事の皆様にお礼を申し上げます、有難うございました。　**（牧野　隆男）**

ジャック
ジャック製菓株式会社
チョコレート
Trademark
〒577-0809
東大阪市永和3-1-26
電話大阪（6721）0269or5153

TANSEIDO　子供に人気のアイテム《好評のチョコレートシリーズ》　¥10　100付　当り付

株式会社 丹生堂本舗
本社・工場　〒544-0001　大阪市生野区新今里1-4-15　TEL (06)6752-1985　FAX (06)6752-7159
第2工場　大阪市生野区新今里1-10-7